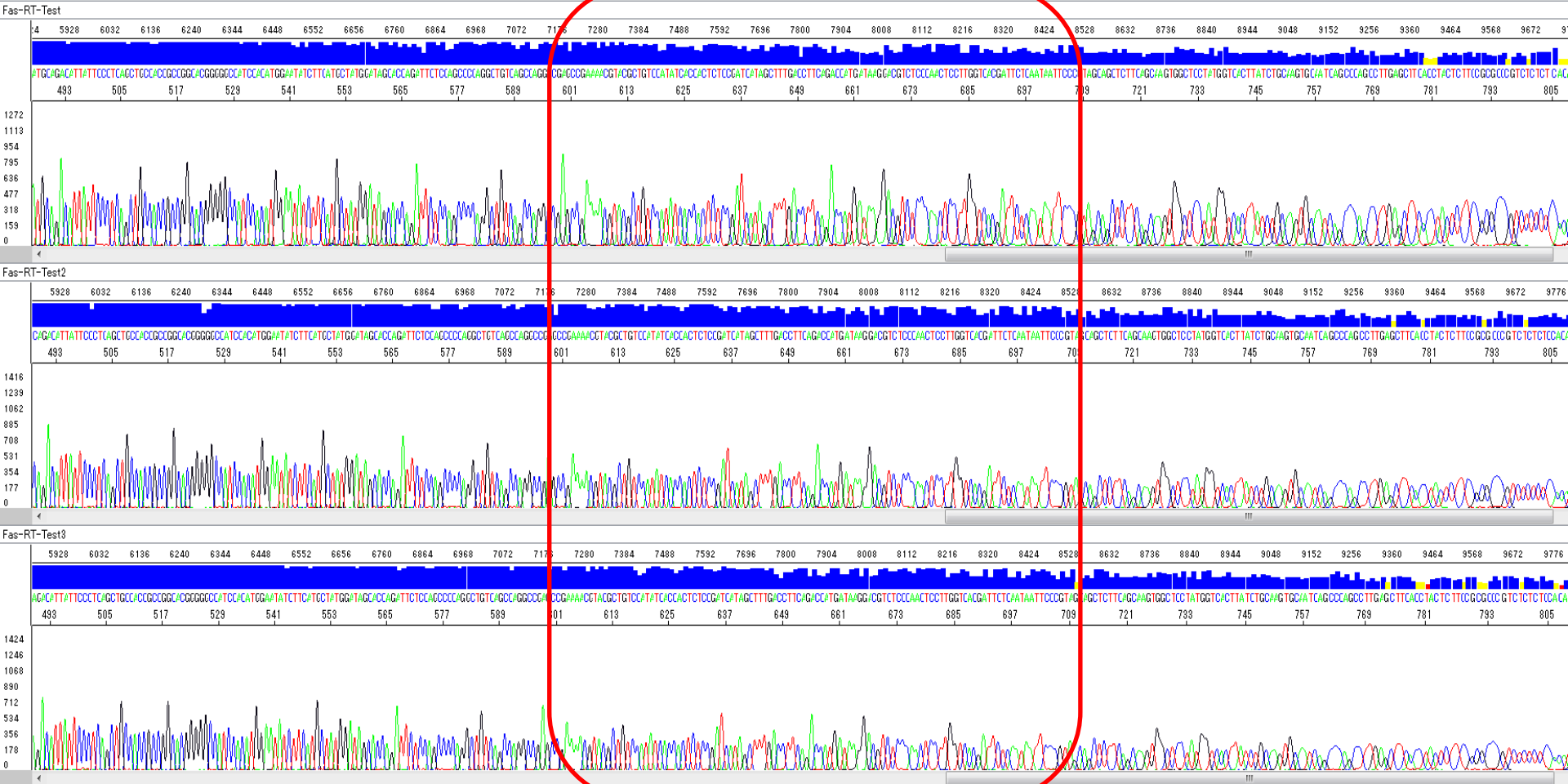


Fasmacシーケンスサンプル 常温取扱いテストデータ

FASMAC

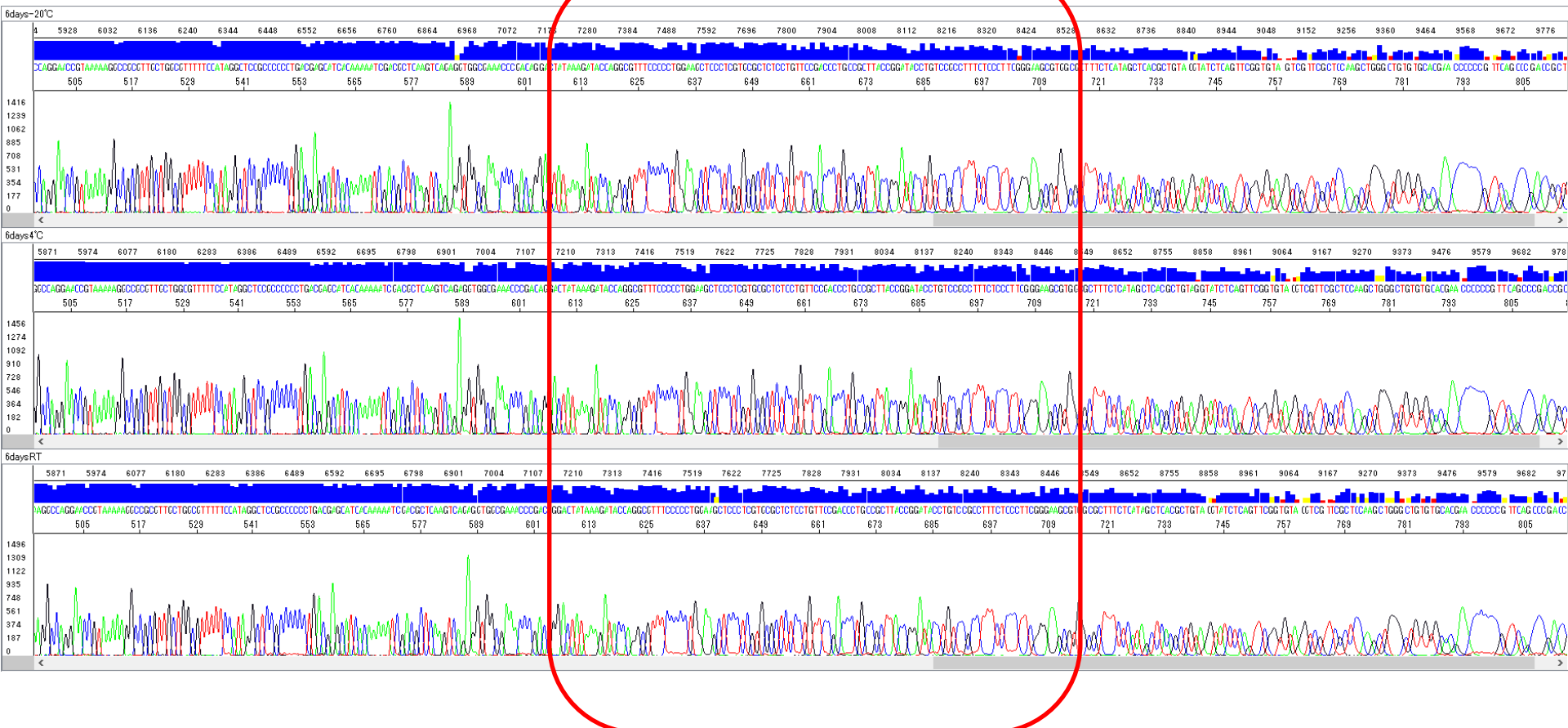
条件: 通常のPremixシーケンス解析用サンプルの組成(Plasmid DNA + Primer)
屋外(最高気温35°C程度) 各1日、3日、6日経過したサンプルを泳動



1~6日の経過では解析結果に有意の差は見られなかった

条件: シーケンス反応・精製済レンタル解析サンプル(乾燥状態)

屋外(最高気温35°C程度)・冷蔵(4°C)・冷凍(-20°C) 6日間保管後にHi-Di Formamideで溶解、
同一条件で泳動



6日間、各条件で保管→泳動結果に有意の差は見られなかった